

第2回 横浜市保土ヶ谷区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会 議事録

日 時	令和7年4月10日（木） 9時30分から13時37分まで 令和7年4月24日（木） 9時30分から11時20分まで
開 催 場 所	保土ヶ谷区役所5階501会議室
出席者	<p>【選定委員会委員】</p> <p>委員長 安藤 孝敏 (横浜国立大学 名誉教授 ヤマザキ動物看護大学 特任教授)</p> <p>委員 穴原 豊 (保土ヶ谷区社会福祉協議会ボランティア・市民活動分科会 会長) 北川 有紀 (ほどがや市民活動センターアワーズ センター長) 大尾 美登里 (NPO法人中途障害者地域活動センターほどがやカルガモの会 理事長) ※岩崎地域ケアプラザの審査は不参加。</p> <p>中村 好美 (保土ヶ谷区民生委員・児童委員協議会 会長 新桜ヶ丘地区連合自治会 会長)</p> <p>濱走 弘之 (社会福祉法人恵和 理事長)</p> <p>樋口 優子 (保土ヶ谷区地域子育て支援拠点こっころ 施設長)</p> <p>矢岳 幸太 (東京地方税理士会 保土ヶ谷支部 会員)</p> <p>【事務局】</p> <p>保土ヶ谷区福祉保健センター担当部長 半田 恒太郎 保土ヶ谷区福祉保健課長 水野 直樹 保土ヶ谷区高齢・障害支援課長 大熊 光子 保土ヶ谷区福祉保健課事業企画担当係長 白石 龍郎 保土ヶ谷区福祉保健課事業企画担当 梶原 麻子 相馬 翔悟 (4/10) 小倉 史絵 (4/24)</p>
欠席者	なし
開催形態	一部非公開（各団体のプレゼンテーション、質疑応答、意見交換、評価記入、集計、意見交換、事務局からの連絡事項等について非公開）（傍聴者0人）
議題	1 事前確認事項

	<p>2 応募団体の面接審査</p> <p>3 指定候補者及び次点候補者の選定、講評</p>
決 定 事 項	<p>指定管理者の候補者及び次点候補者として、次のとおり、横浜市保土ヶ谷区長に報告することとする。</p> <p>1 横浜市岩崎地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者 指定候補者：社会福祉法人なでしこ会 次点候補者：なし</p> <p>2 横浜市今井地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者 指定候補者：社会福祉法人清光会 次点候補者：なし</p> <p>3 横浜市星川地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者 指定候補者：社会福祉法人横浜市福祉サービス協会 次点候補者：なし</p> <p>4 横浜市仏向地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者 指定候補者：社会福祉法人清光会 次点候補者：なし</p> <p>5 横浜市川島地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者 指定候補者：社会福祉法人朋光会 次点候補者：なし</p>
議 事	<p>1 事前確認事項</p> <p>事務局から、公募の結果4団体から応募書類の提出があった旨を報告するとともに、次の3点について確認した。</p> <p>○委員会の公開・非公開 応募団体審査、指定候補者及び次点候補者の選定に関する審議について非公開とすることを確認。(第1回委員会で審議済み) ※なお、応募団体の面接(プレゼンテーション及びヒアリング)は、面接審査を受けている団体以外の応募団体を除き公開。</p> <p>○面接審査の進め方及び質問項目の確認 (事務局) ・面接審査の全体の流れ、質疑応答の流れ、最終審査の流れについて説明。 ・1施設に対して1団体のみの応募となっている施設については、最低制限基準に満たない場合は、再選定を行う旨を再確認した。 ・1施設に対して複数の応募がある施設についても、最低制限基準に満たない場合は、再選定を行う旨を再確認した。</p> <p>(委員)</p>

- ・ヒアリング時の質問項目を確認した。

○応募団体の資格要件等について

(事務局)

- ・資格要件を満たすこと、欠格事項に該当しないことを報告。
- ・欠格事項のうち、「暴力団又は暴力団経営支配人等ではないこと」に関して、神奈川県警に照会した結果、該当しないとの回答を受けた旨や市税納付状況等の確認を行った結果、資格要件を満たしている旨を報告。

2 応募団体の面接審査

(1) 面接審査

ア 横浜市岩崎地域ケアプラザ

(ア) プレゼンテーション

団体から、団体の概要、事業計画等について説明

(イ) 主な質疑応答

(委員) 岩崎地域ケアプラザエリアにおける高齢者食事サービス事業の利用状況はどれくらいか。また、この事業に付随してデータの集積や、他機関との連携状況はいかがか。

(団体) 登録者は約 30 名。延べ 520 食/月。岩崎地域ケアプラザエリアの登録者は 3 名。平均 50 食/月。登録者には徘徊をしてしまう高齢者もあり、家族やケアマネジャーとも連携しながら、安否確認も行っている。

市営住宅の生活援助員派遣事業については、エリア内で 3 か所の市営住宅に生活援助員を派遣している。居住の人数は約 80 名。横浜市住宅供給公社や市営住宅の管理運営業者とも連携しながら安否確認を行っている。入居時には元気だったが、数年経ち段々と要介護状態になっていくこともある。そういう場合には、地域包括支援センターが連携して、介護認定を受ける手続きの補助をしている。コロナ禍においては、ワクチン接種の申込が難しい高齢者のお手伝いをすることもあった。

(委員) 子育て中の世代に対してできることというのを具体的にどういった企画を考えているか。

(団体) 地域ケアプラザだけでは専門性に欠けるところもあるため、地域子育て支援拠点「こっころ」や、「こっころサテライト」といったところと一緒に子育て支援事業を進めていきたい。例えば、幼稚園や保育園の先生の声を聞ける会を開くなど考えている。また、広報紙やホームページでも子育て支援事業の周知を進めていきたい。

また、第 1 ・ 第 3 土曜日には、こどもランドを定期的に開催するなど子育て支援を進めているが、さらに関係機関とも連携を深め、充実

	<p>した子育て環境を作っていくたい。</p> <p>(委員) その中で、高齢者との交流をする機会があるとよい。</p> <p>(委員) 災害時における具体的な取組はどのようなものか。特にトイレについては能登半島地震でも問題になっていたため災害に備えるための取組も聞きたい。</p> <p>(団体) 岩崎地域ケアプラザは、備蓄物資については3日間の備えがあり災害時の体制も整っている。</p> <p>また、災害発生後に福祉避難所をできるだけ早く開設できるような職員体制を確保している。</p> <p>応急備蓄の中に簡易的なトイレもあり、加えて地域住民の方から御寄付いただいたポータブルトイレという福祉用具もある。</p>
イ 横浜市今井地域ケアプラザ	<p>(ア) プレゼンテーション</p> <p>団体から、団体の概要、事業計画等について説明</p> <p>(イ) 主な質疑応答</p> <p>(委員) 防災訓練に地域ケアプラザ職員はどれくらい参加しているか。</p> <p>(団体) 福祉避難所の訓練には、指定管理部門の職員は全員参加。消防法における避難訓練はデイサービス利用者も交えてデイサービスで実施している。</p> <p>(委員) チームオレンジについては、地域住民が中心となって行っていくのか。</p> <p>(団体) 地域包括支援センターの職員が中心となっていくが、様々な職種の視点が必要と考えているため地域活動・交流コーディネーターや、生活支援コーディネーターと一緒に取り組んでいく。今後、具体的な取組を検討する際には、民生委員・児童委員と一緒に進めていきたいと考えている。</p> <p>(委員) 職員のプレゼンテーションスキル育成はどのようにしているか。</p> <p>(団体) 日常業務においても頻繁に職員会議を行い、紙資料を読むだけでなくホワイトボードを活用したプレゼンテーション形式など伝わりやすい工夫をするよう促している。</p> <p>(委員) ボランティアニーズの変化で感じていることや特徴はあるか。</p> <p>(団体) 地域のデイサービス事業所から、コロナでボランティアとの関係が途絶えてしまったという話があり、地域ケアプラザは様々なボランティアと繋がっているのでその強みを活かして、事業所と繋いでいる。</p> <p>(委員) 新規の相談を受けるために工夫していることはあるか。</p> <p>(団体) 地域ケアプラザの役割周知はまだまだと感じている。アウトリーチとして、商業施設の軒先でのぼり旗を立てて相談を受け付けた。あま</p>

	<p>り相談がないため、違うやり方も検討中。</p> <p>ある町は、相談件数が少ない。そもそも住民が少ないからなのか、それとも地域ケアプラザの役割の周知が足りていないのか把握するため、その町に近い地区センターで地域ケアプラザの事業を行う予定。</p> <p>(委員) エリア別子育て支援連絡会を3エリアで開催する中で、効果や課題があるか。</p> <p>(団体) 自治会長や民生委員・児童委員、主任児童委員の集まりは良いので、今後は幼稚園や保育園の方にも多く出席いただけるように働きかけていく予定。</p> <p>(委員) 様々な事業に取り組まれているが、職員の負担はどうか。</p> <p>(団体) 相談関係に関しては、A職員が受けた相談について、A職員が休みのときにB職員、C職員が相談を受けても分かるよう、共有するよう日頃から言っている。一人の職員に負担が偏らないようなるべく属人化をしない方針。</p>
ウ	<p>横浜市星川地域ケアプラザ</p> <p>(ア) プレゼンテーション</p> <p>団体から、団体の概要、事業計画等について説明</p> <p>(イ) 主な質疑応答</p> <p>(委員) 防災の取組を進める中で、実際に災害が起きた時に対応が難しいと考えている点があるか。地域性を踏まえての対策も伺いたい。</p> <p>(団体) BCPのほか、地震、水害、感染症に備えた計画を策定している。計画だけでは実際の対応が難しいこともあるので、法人全体でBCMを目標に掲げ、実際に行動できるのか、トライアンドエラーで取り組んでいる。</p> <p>複合館「かるがも」全体で年1回の防災訓練をし、連絡会で災害対策について話をしている。地域防災拠点にはこちらから出向いて一緒に地域でできることを検討していきたい。</p> <p>(委員) 福祉避難所としての備えや考えはどうか。</p> <p>(団体) BCPの読み合わせや図上訓練、内容の検討をしている。また、地域の危険な個所の確認を行っている。</p> <p>(委員) 星川の地域の特徴や魅力をどのように捉えているか。また、福祉施設や企業と連携して進めていることがあるか。</p> <p>(団体) 地域の強みはつながりが強いことと認識している。困りごとについても地域である程度支えていることがある。エリア内や複合館の中の施設との連携は大切にしており、例えば、地域ケアプラザまつりでは、福祉施設だけでなく商店街にも声をかけ、まつりの後もボランティア</p>

	<p>で協力をしていただけたようになったりしている。</p> <p>(委員) 担い手不足がと言われている中、ボランティアをどのように地域につなげているのか。</p> <p>(団体) 星川地域ケアプラザの特色の一つである「大人の部活」では、活動ごとに星マーク 1つ～3つをつけて、未経験者向けなのか慣れた方向けなのか分かりやすくしており、誰でも活動をしやすいようにしている。デイサービスのボランティアが多いので、その方たちも趣味や現在の活動を生かしながら活動を広げられるように働きかけている。</p> <p>(委員) マンションなどアプローチをしにくい建物で生じている課題の情報収集で工夫していることはあるか。</p> <p>(団体) 何か相談が入った時など、どんな切り口でもいいのでつながりを持つようにしている。管理組合などとも連携をしていきたいと考えている。</p>
エ 横浜市仏向地域ケアプラザ	<p>(ア) プレゼンテーション</p> <p>団体から、団体の概要、事業計画等について説明</p> <p>(イ) 主な質疑応答</p> <p>(委員) 地域から福祉避難所としての役割を期待されていると思うが、どのように受入などを考えているか。</p> <p>(団体) 地域ケアプラザの隣の橘中学校の防災訓練と協力して、中学校から地域ケアプラザまで移動する受入訓練を行った。</p> <p>(委員) 災害に備えて職員の研修はどのようにしているか。</p> <p>(団体) BCP の職員間共有をしている。参考などの連絡方法はメッセージアプリを使うことを想定している。災害の中で地域ケアプラザ業務や通所サービス、福祉避難所の運営をすべてやっていくのは厳しい面もあるが、取り組んでいきたい。</p> <p>(委員) 小学校との連携が多いが、学校からの依頼なのか地域ケアプラザからの打診なのか。</p> <p>(団体) 日頃から認知症サポーター養成講座などで小学校と関わりがあり、そのつながりの中で学校側から提案がある場合や、地区社会福祉協議会から相談があって連携につながる場合など、その時による。</p> <p>(委員) 総合相談の中で、こども関係ではどんな相談があるか。</p> <p>(団体) 区の育児相談でつながった人たちが「今後も育児で不安なことがあった時に相談できる場」と思ってくれていると聞いている。「親子で遊べる場が欲しい」といった話もある。</p> <p>(委員) 高齢者の買い物が大変だという課題の中、移動販売が始まっている。移動販売と高齢者支援でつながることがあるか。</p>

	<p>(団体) 心配な方について移動販売の場で見守りを行ったり、訪問に行ったりするときに移動販売の案内をして交流につなげたりしている。</p> <p>(委員) 人材育成で、個人目標管理制度を取り入れているということだが、個人が目標に向けて取り組む中で事業にどのように生かしているか。</p> <p>(団体) 個人目標管理シートは毎年作成している。個人のコミュニケーションスキル向上などの目標に取り組むことも地域支援で生きている。</p> <p>才 横浜市川島地域ケアプラザ</p> <p>(ア) プレゼンテーション</p> <p>団体から、団体の概要、事業計画等について説明</p> <p>(イ) 主な質疑応答</p> <p>(委員) 多職種連携会議の構成メンバーと開催頻度を教えてほしい。</p> <p>(団体) 主に川島地域ケアプラザエリアのデイサービス・訪問看護・ヘルパ一事業所・ケアマネジャー事業所などに声かけしている。開催頻度は年に1回程度。</p> <p>(委員) ユースボランティアにはどのような学生・生徒が参加しているか。また参加者からの反響はどうか。</p> <p>(団体) 横浜市内の様々な学校から参加者がいるが、地元の保土ヶ谷高校の生徒も複数いる。ユースボランティアセミナーの企画は川島東部地区社会福祉協議会に「学生の力を借りたい、意見を聞きたい」という強い思いがあり開催した。夏休みを中心に活動し、秋に文化祭とミニ運動会を行った。参加した学生たちからは「自分たちの意見が採用されて楽しかった」「次回もあれば参加したい」などの反響があった。</p> <p>(委員) 日頃の防災訓練で気を付けているところはあるか。</p> <p>(団体) 年に2回の防災訓練では調理室火災を想定した避難訓練を実施している。開催回ごとに職員の役割を変える等、職員が少ない場合でも対応できるよう工夫している。また、水害を想定した訓練や、福祉避難所となることを念頭にパーテーションを作つてみる等、実際に体を動かす訓練をしている。</p> <p>(委員) 川島地域見守りホットライン事業の方向性を聞きたい。</p> <p>(団体) 地域の皆様に見守りの意識を持っていただいて、何かあったときに相談可能な体制をつくるということを念頭に置いている。例えば商店街の利用者の見守りに関する相談から、西谷地区の商栄会と交流を深めている。</p>
2 指定候補者及び次点候補者の選定、講評	<p>応募者から提出された応募書類及び面接審査等をもとに評価を行い、各委員の評価結果を集計する。</p>

(1) 横浜市岩崎地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準得点／基準点
指定候補者	福) なでしこ会	1,173／1,625 点	1,173／885 点
次点候補者	なし	—	—

(審査講評)

- ・地域・利用者との対話を通じた信頼構築に力を入れていて、地域から頼りにされていると感じた。
- ・こどもから高齢者まで、幅広く支援している取組について具体的でわかりやすかった。実績などが数字で表せるともっと良い。

(2) 横浜市今井地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準得点／基準点
指定候補者	福) 清光会	1,646／2,010 点	1,576／1,098 点
次点候補者	なし	—	—

(審査講評)

- ・地域別に特徴を把握したうえで、数値分析を行いサービス活動に生かしている印象を受けた。
- ・コロナ禍で途切れていた地域ニーズを再びつなぐことができたのは、絶えず信頼構築してきた努力の成果だと感じた。
- ・近年特に障害者支援のかかわりを増やしていく、頼もしい存在を感じている。関係団体と更に連携を強め、期待に応えてほしい。

(3) 横浜市星川地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準得点／基準点
指定候補者	福) 横浜市福祉サービス協会	1,481／2,010 点	1,435／1,098 点
次点候補者	なし	—	—

(審査講評)

- ・大規模な団体のため人材確保や研修体制などのスケールメリットがあるが、星川地域の地域性を踏まえた取組などをもっと具体的に聞くことができ

	<p>るとよかったです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合築している施設など他分野との対話がより進むとよいと感じた。 <p>(4) 横浜市仏向地域ケアプラザ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>応募団体</th> <th>評価得点／満点</th> <th>最低制限基準得点／基準点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指定候補者</td> <td>福) 清光会</td> <td>1,512／1,920 点</td> <td>1,472／1,044 点</td> </tr> <tr> <td>次点候補者</td> <td>なし</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(審査講評)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラジオ放送の取組は画期的で、地域のつながりを持たせる良いものだと感じた。 ・病院送迎や買物支援サービスなど、地域の特徴を踏まえた課題解決に取り組んでいる。 ・事業ごとにロゴがあるなど工夫されていて、参加する方の目印やアイデンティティにもなるのではと感じた。 <p>(5) 横浜市川島地域ケアプラザ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>応募団体</th> <th>評価得点／満点</th> <th>最低制限基準得点／基準点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指定候補者</td> <td>福) 朋光会</td> <td>1,490／1,920 点</td> <td>1,439／1,044 点</td> </tr> <tr> <td>次点候補者</td> <td>なし</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(審査講評)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業名や事業方針が個性的で、職員がよりよく楽しく各事業に取り組まれていると感じられた。地域と一番近い距離で向き合っている職員が必要だと思った取組を大切にしている。 ・若い世代が、ボランティアなど積極的に地域にかかわることができる取組はとても良い。 <p>各応募団体の得点は、いずれも最低制限基準を満たしているため、選定委員会として社会福祉法人なでしこ会他を指定候補者として選定することを決定する。</p>		応募団体	評価得点／満点	最低制限基準得点／基準点	指定候補者	福) 清光会	1,512／1,920 点	1,472／1,044 点	次点候補者	なし	—	—		応募団体	評価得点／満点	最低制限基準得点／基準点	指定候補者	福) 朋光会	1,490／1,920 点	1,439／1,044 点	次点候補者	なし	—	—
	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準得点／基準点																						
指定候補者	福) 清光会	1,512／1,920 点	1,472／1,044 点																						
次点候補者	なし	—	—																						
	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準得点／基準点																						
指定候補者	福) 朋光会	1,490／1,920 点	1,439／1,044 点																						
次点候補者	なし	—	—																						
資 料 ・ 特 記 事 項	<p><u>1 資料</u></p> <p>(1) タイムスケジュール (2) 選定委員名簿 (3) プレゼンテーション資料 (4) 採点シート</p>																								

(5) 財務分析結果報告書

2 特記事項

特になし